

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公開：令和6年3月31

※これは保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

■調査の概要

◆調査目的

利用児童の保護者の皆様の評価、意見を受け、今後の運営に役立てるための基礎資料とするため

◆調査期間

令和6年3月1日から令和6年3月15日

◆アンケート配布・回収状況

○アンケート対象者 7名
○アンケート回答者数 6名 (回答率 85%)

	チェック項目	はい			わ			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わ	から	ない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5			1			とても綺麗です	施設面積128㎡(39坪)と、国の基準を大きく上回り、お子さまに伸び伸びと過ごしてもらえる施設環境を整えました。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	4			2			職員さんが増え、どんな方がいるのかわからない	職員体制を強化しています。保育士や、児童指導員ばかりでなく、新たに理学療法士等、より専門的かつ安心、安全な支援を強化します。ご指摘のように、新採用職員は連絡帳等を活用し、ご紹介する予定です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構成化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている	5			1			仕切りがあり活動する部屋と、リラックスできる部屋を理解して、メリハリをつけて過ごせていると思います。	施設設計段階から、子供たちが「どこでなにをするのか」を明確にした生活空間を心がけました。また、そのことがお子さまにわかりやすいような「視覚化」にも配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6						とても素敵な空間です。自分の家のようにリラックスして過ごせているようです。	■お子さまにとって「清潔な環境」が最優先であり、毎日の清掃、消毒を徹底しています。 ■感染症対策として、高性能空気清浄機を設置
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6							お子さま1人ひとりの特性を理解した上での支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1			1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5				1			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4				2			今後も新しい活動を取り入れていきます。現在、幼児向けシステムプログラム導入を計画しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		1		2		こども園に行っているのだから必要ないと思います。	現段階で交流機会を設けたことはありません。「どこと」、「どのようなカタチで」の交流が相応しいのか、課題も多いため今後の検討課題とします。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	6							ご契約段階で説明をしております。また、今後の運営において変更等が生じた場合は、都度書面、また必要に応じて口頭にてご連絡差し上げます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3	2	1					契約時に支援内容の説明を、またモニタリング等の機会にその進捗の報告、また家庭での状況をヒアリングすることで調整もしている。
12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	2	2	2				子どもに対しての接し方などは本やインターネットで学んでいます。忘れていたり、まだまだ知らないこともあるので定期的に指導していただくことは大事なことでと思います。	当事業所も開設1年6カ月を経過し、今後の重点的な取組み課題として捉えています。今後の実施内容、スケジュール等を組んだ上で保護者の皆様にご案内いたします。	
適切な支援の提供	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6						連絡ノートに1日の様子を細かく書いていただいているので安心です。子供の成長も感じられます。	いつも連絡帳や送迎の時に教えてもらっています。 ■連絡帳や、送迎時を活用して共通理解を図るよう心掛けています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2	3	1				面談はあまりないのですが、相談すれば親身になって相談に乗ってくれます。	■モニタリングの機会を活用し、面談、助言を行っています。今後随時相談申し入れの機会も設け、保護者の皆様のサポート体制強化に取り組んでいきます。 ■ペアレント・トレーニングに合わせて、保護者会の実施を検討します。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	1	4					
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5	1						
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされている	6						お迎えの時、きょうの支援について伝えてくれなかった職員さんがいたので、損の点だけ気になった。	今後、会報紙の定期発行をする計画です。これを活用し、行事予定、施設の最新情報や、保護者の皆様との連絡を進めていきます。また、ネットの活用も検討していきます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	6							
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	5							個人情報の厳重に管理を心がけています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	6						毎月初めにされている。	■保護者の皆様への各種マニュアルの理解促進を、積極的に取組めます。 ■子供たちとの防災訓練等は、毎月定期的に実施しています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われている	6							
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	6						「ババリカさん」と家でも言いながらニコニコしています！ 「ババリカ好きになっちゃった！」と言っていました。	■皆様からの評価、コメントは私たちスタッフにとって嬉しく、励みとなります。今後も「ババリカキッズ・ラボ」は、お子さまを「どこ」にする施設になることを、そして保護者の皆様にとって信頼される施設を目指していきます。
	23 事業所の支援に満足している	6						休みの時の連絡をLINEでできるようになると嬉しいです。	■今後、アプリ等の導入を検討していきます。